



# 輝け 城東っ子



R7. 10. 1

校長 高橋 正和

もうすぐ1学期が終わります。1年生は97日間、2～6年生は99日間の1学期を精一杯頑張りました。締めくくりとして、学びのまとめに精一杯取り組んでいます。どの子も輝いている姿は、ほほえみいっぱいの素敵な城東小にしてくれています。そんな素敵な子供たちに学校表彰として「ほほえみ賞」を贈りたいと思います。1学期間のご理解とご協力に感謝いたします。

## いじめゼロ強調月間 (やさしく・かしく・たくましく)

9月は、本年度2回目の「いじめゼロ強調月間」でした。いじめに関するアンケートの実施やいじめに関する内容を含んだ道徳科の授業の実施、いじめゼロ集会の実施、いじめに関する職員研修の実施など、「いじめゼロ しない 負けない 許さない」を合言葉に、いじめゼロを目指して学校全体で取り組みました。

職員研修では、いじめへの感性を高めるためのチェックリストを活用し、いじめ対策を振り返ったり、いじめの未然防止のために事例を使った話し合いを行ったりして、教職員のいじめへの意識を高める取り組みを行いました。

「やさしく・かしく・たくましく」成長し、ほほえみ溢れる城東小を目指します。

## いじめゼロ集会 (やさしく・かしく・たくましく) 🎃🍬👻🍭🍩🍪🍫

子供たち一人一人が、いじめを自分ごととして捉え、いじめのないよりよい学校生活を自分たちの手で築くための具体的な行動を考える機会とするため、児童会が中心となって、いじめゼロ集会を行いました。「いじめは絶対に許さない」という強い意志を全校児童で共有し、誰もが安心して過ごせる温かい学校を皆で作りに上げていくという意識を高めることができました。

いじめについて、全員で考えた後、「城東っ子いじめゼロ作戦」を代表委員児童が発表しました。作戦その1「『やめよう』と言う！」作戦その2「一人ぼっちの子に声を掛ける！」作戦その3「こまっている人がいたら助ける！」作戦その4「やさしい言葉を使う！」この4つの作戦の実施を呼びかけ、「皆が気持ちよく過ごせる環境を作りましょう。」と熱い思いを伝えていました。「一人の小さな行動が、学校をやさしい場所にしていきます。みんなの力が大事です。」「いじめをしないこと、見て見ぬふりをしないことが大切です。」と締めくくっていました。

最後に代表委員が考えた「城東っ子いじめ防止合言葉」を全員で唱えました。

- じょうとうのじ：自分されて嫌なことは、他の人にやらない！（やさしく）
- じょうとうのよ：よくないことをしていたら、注意し合えるようになろう！（たくましく）
- じょうとうのう：嘘をつかずに正直に、困ったことがあったらすぐ相談！（かしく）
- じょうとうのと：友達のを大切にしよう！（やさしく）
- じょうとうのう：うれしいな、いじめゼロの城東小！（やさしく・かしく・たくましく）

全校児童と教職員全員で、いじめについて考える貴重な時間となりました。



## 演劇鑑賞会（やさしく・かしこく・たくましく）



9月4日（木）には、劇団ポプラをお呼びし、ミュージカル劇「アラジン」を鑑賞しました。映像とコラボした迫力のあるシーンや子供たちも参加するようなシーンもあり、演劇の楽しさを十分に味わうことができました。周りへの思いやりや友達の尊さ、正しいことは何かをしっかりと考えることの大切さ、考え抜いた正しいことを貫く強さなど、「やさしく・かしこく・たくましく」成長することができる内容が盛りだくさんでした。



## 避難訓練（不審者）（やさしく・かしこく・たくましく）

9月11日（木）には、東警察署のスクールガードにご来校いただき、不審者対応の避難訓練を行いました。不審者が特定児童を狙い校舎内に侵入してきたという設定で、全児童、全職員が参加し行いました。各クラスごとにバリケードを作ったり、教室の隅に集まって避難したりしての自分たちの命を守る訓練です。誰もが真剣でした。不審者確保後、体育館に集まり、訓練の様子を映像で見ながら、訓練を振り返ったり、命を守るために大切なことを学んだりしました。教職員も刺股の使い方等の講話をいただき、体験することで、さらに安全への意識を高めました。

「やさしく・かしこく・たくましく」成長することで、自分の命は自分で守ることにつながることを実感することができたのではないのでしょうか。



学校における働き方改革について ～宇都宮市教育委員会より～

学校電話の自動音声応答の時間が変わります。

日頃より本市教育活動に温かいご支援を賜り、深く感謝申し上げます。夜間休日等の学校への電話連絡につきましては、皆さまのご理解のもと、自動音声応答を導入しておりますが、教職員の働き方改革をさらに推進するため、二学期より、原則として、勤務時間（8：05～16：35）外は自動音声応答とさせていただきます。

※ 本趣旨に鑑み、緊急時以外は、時間外の来校もお控えください。

※ 児童生徒の生命・安全に関わる緊急事案につきましては、警察や消防に通報後、教育委員会緊急電話（632-5115）までご連絡ください。

※ 「校外行事の欠席連絡を早朝に指定している場合」や、「学校から皆さまに電話の折り返しをお願いしている場合」等は、自動音声応答の時間を変更することがあります。

<ことばの窓> 書家 相田 みつお

子供の心・情緒を育てるためには、先ず親自身が豊かな心をもつことが大切ではないか。